

ポスター発表補助システムについて

(2020.9.12 版) 随時更新します

～ ポスター発表者（若手、一般、テクノレビュー）の方へ ～

● 目的

- 69 年会ではポスター発表に REMO を使用しますが、通常のポスター講演とは異なり、自由にポスターを見て回ることができません。また、1 つのポスターを同時に聴講できる人数が 7 名に限られているので、討論に参加できない可能性もあります。
- より多くの参加者にポスターを見ていただき、長い時間を掛けて議論を深めていただくために、ポスターデータの公開システムとテキストベースのチャットシステムを用意しました。
- また、若手ポスター表彰においても、審査員が対象のポスターを評価できない可能性が高いです。そのため、若手ポスター発表をされる方に、会期前にポスターデータをアップロードしていただき、審査員に事前審査していただくことにしました。

● 留意事項

- ポスターデータは、「簡単に」ダウンロードできない状態で公開しますが、完全な漏洩を防ぐことはできません。たとえば、表示した画面のスクリーンショットを撮影することは可能です。漏洩が問題になりうるデータは、アップロードしないでください。
- 若手ポスターの早期審査（9 月 14 日～9 月 15 日）の間には、審査員にのみポスターデータが公開されます。一般・テクノレビューのポスターデータは公開されません。一方、会期中及び会期後の 9 月 30 日(水) まで は、アップロードされているデータが「**年会参加者**」に公開されます。
- アップロードしたデータを削除すると、公開も停止するようになっていきますので、「早期審査中のみ公開する」、「会期中のみ公開する」ことも可能です。また、データを差し替えることもできます。ただし、アップロードされたデータを加工し、Web サーバーに転送して公開しますので、アップロード、削除から公開、更新、停止までに 1 時間程度を要することにご注意ください。
- ファイルアップロードとチャットシステムの利用には、いずれも「参加登録した際の申込番号」を ID に、「申込時のメールアドレス」をパスワードとして使用します。
- 作成するポスターは、複数ページからなるものでも、大判 1 枚でも問題ありません。作成後、PowerPoint などのエクスポート機能を利用して、PDF 形式に変換してください。その時、ファイル名は”講演番号.pdf”としてください。たとえば、Y3062.pdf や、P2040.pdf です。この規則に従ったファイル名でないと、公開できません。

ポスターデータアップロードシステム ownCloud の使用方法

- URL: <https://file.jsac.jp/>, ID: 参加申込番号 (RG + 数字 4 桁)、パスワード: 参加申込時に使用したメールアドレス、でログインします。「ユーザーが無効です」と表示される場合は、お手数ですが y.suzuki@neptune.kanazawa-it.ac.jp にご連絡ください。

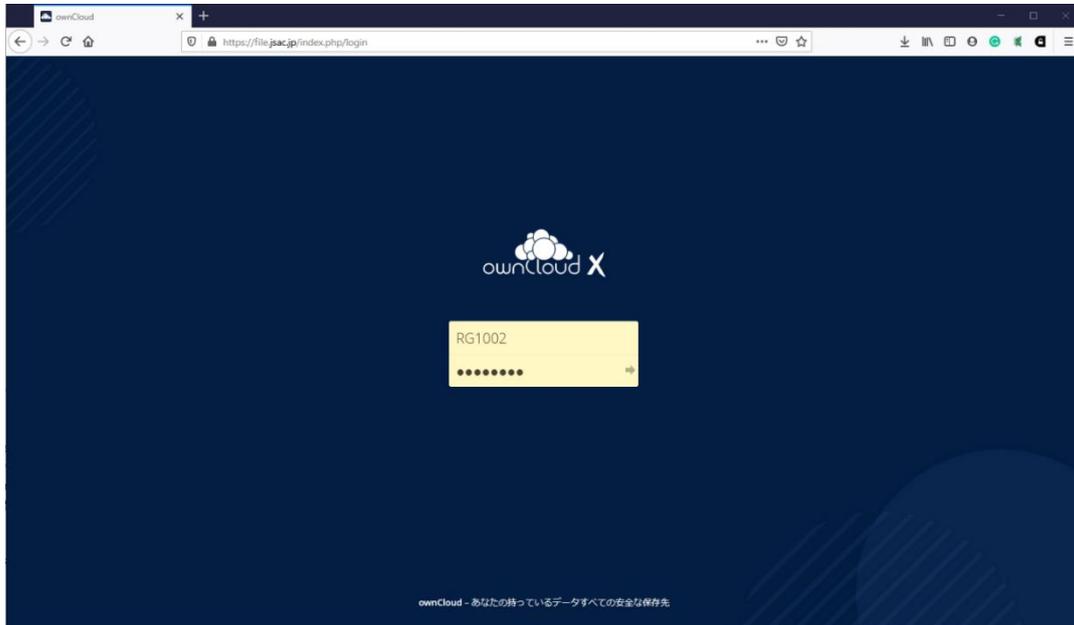


図 1 ownCloud のログイン画面

- ログイン後初回起動時には、専用アプリのダウンロードを促すダイアログが表示されますが、“×”をクリックして消して構いません。



図 2 ownCloud の初回起動画面

- ポスターの PDF ファイルを保存するのは、Documents フォルダです。
“Documents”をクリックしてください。

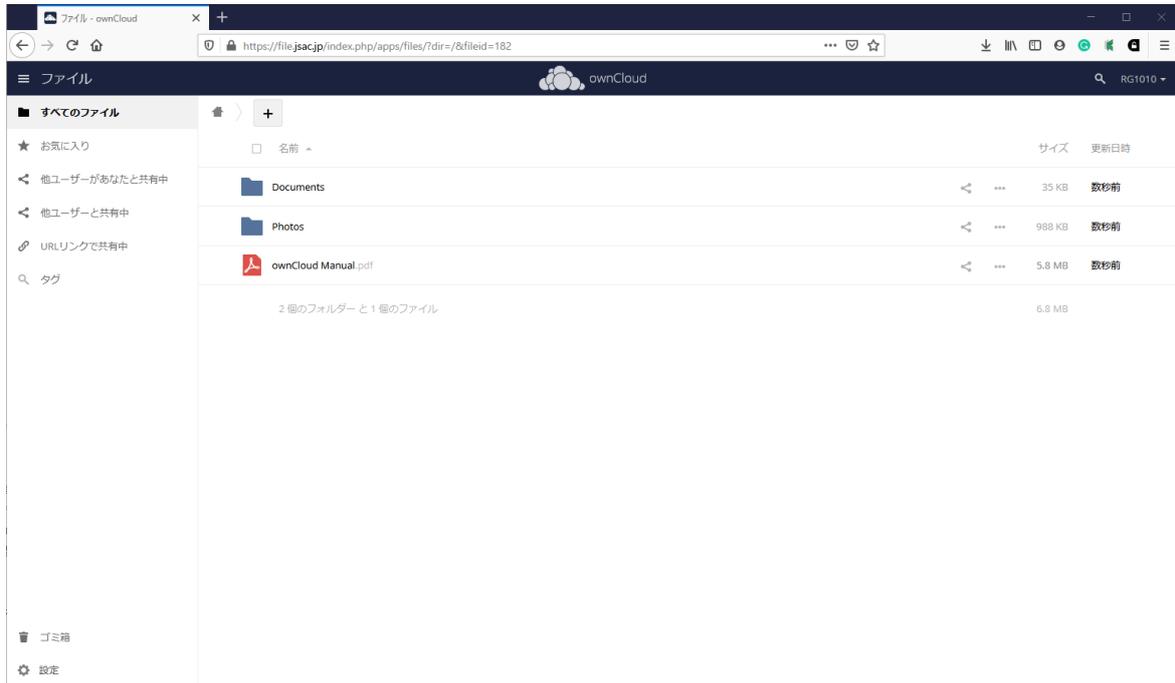


図3 フォルダ選択画面

- Documents フォルダを開くと、Example.odt というファイルがありますが、これはそのままでも構いません。PDF ファイルをアップロードするには、この画面に目的のファイルをドラッグ&ドロップするか、画面上部の“Documents”の右にある“+”をクリックし、「アップロード」をクリックしてください。

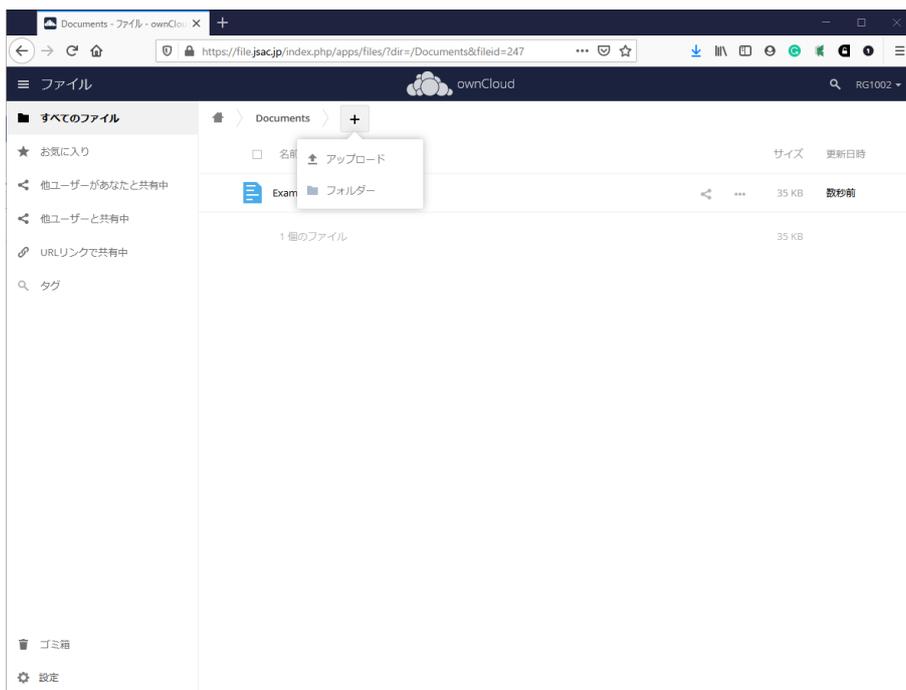


図4 ファイルのアップロード

- メニューからアップロードを選択した場合は、ファイル選択の画面で出ますので、アップロードするファイルを選択してください。

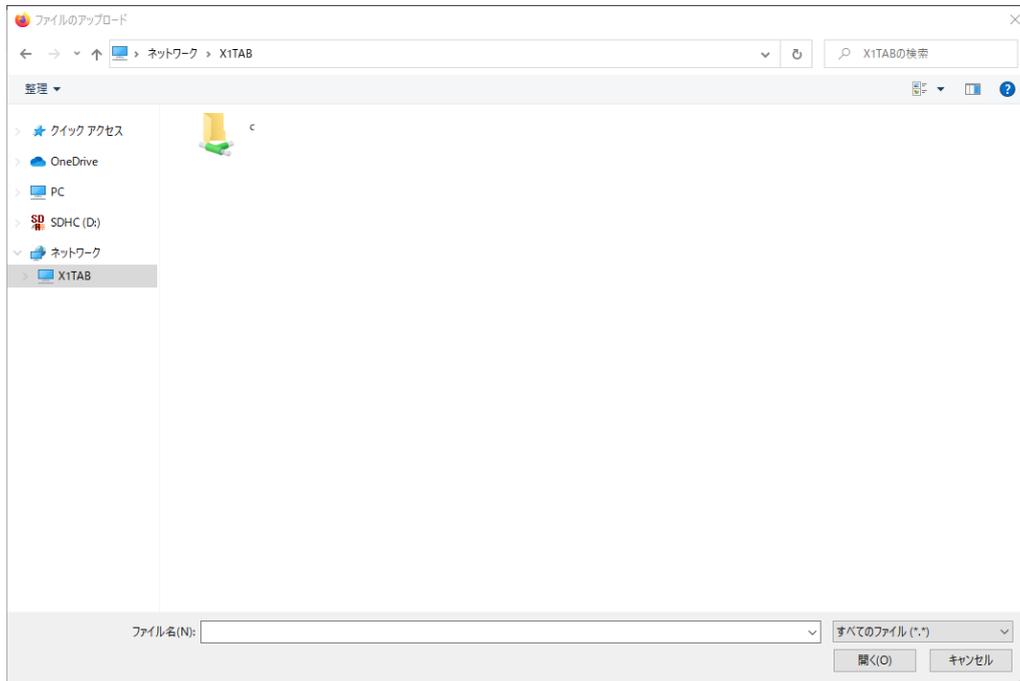


図5 フォルダー選択画面

- アップロードしたファイルを削除したり、名前を変更したりするには、ファイル名右の”...”をクリックして目的の項目をクリックしてください。

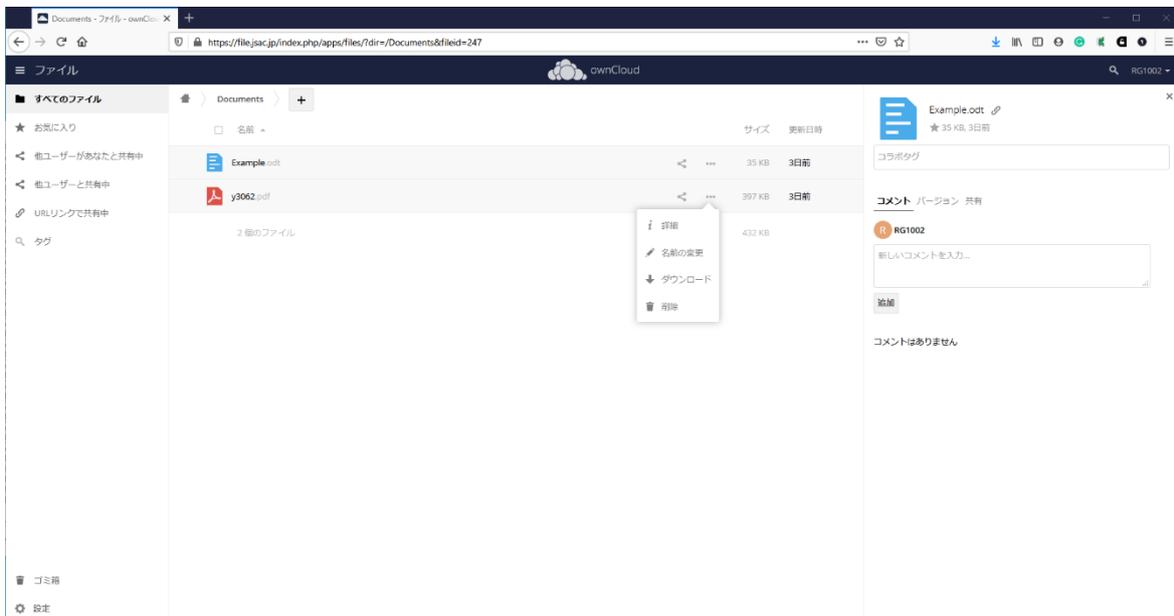


図6 ファイル削除、ファイル名変更などのメニュー

- ダウンロードは、ファイル名のクリックでも実行できます。クリックするとファイルの処理について問い合わせる画面が出ます。アップロードしたファイルに間違いがないか、確認してください。

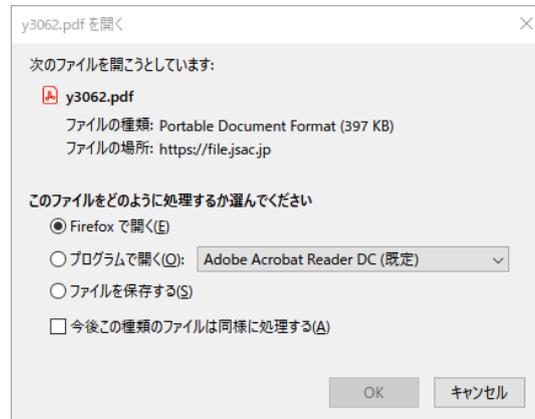


図7 ファイル削除、ファイル名変更などのメニュー

- 複数のポスター発表をされる方は、Documents フォルダに複数のファイルをアップロードしてください。それぞれ、ポスター発表の番号をファイル名としてください。
- この年会内では使用しませんが、ファイル右の共有ボタン“<”をクリックすると、ファイルを他の人と共有できます。右側に表示される共有メニューで「公開リンク」を選び、「公開リンクを作成」ボタンを押すとパスワードや共有期間を指定して（指定しなくてもよい）共有リンクを作成できます。このリンクを共同発表者にメール等すれば、発表内容を確認してもらうことができます。
- 作業が終わったら、自分のアカウント名（RG+数字4桁）をクリックして、ログアウトを選択します。

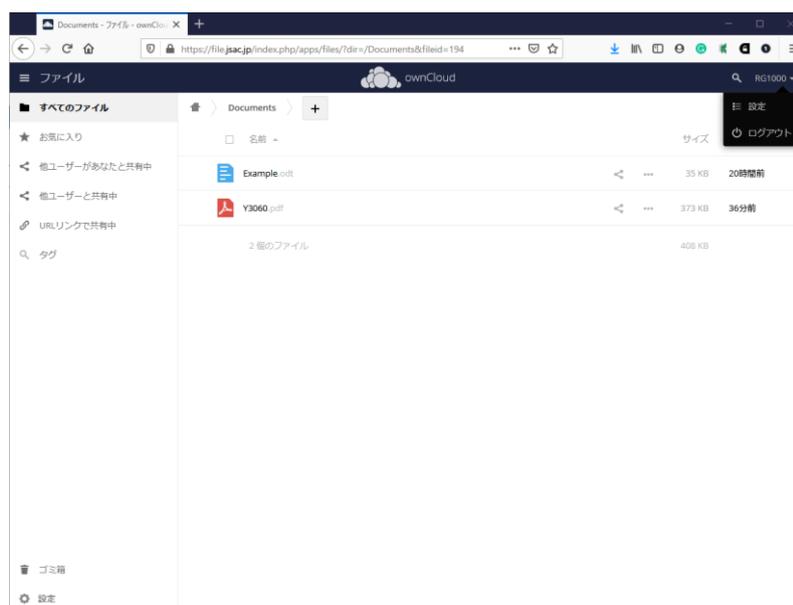


図8 ログアウトメニュー

テキストチャットシステム Rocket.Chat の使用方法

- URL: <https://chat.jsac.or.jp/>, ID: 参加申込番号 (RG + 数字4桁)、パスワード: 参加申込時に使用したメールアドレス、でログインします。

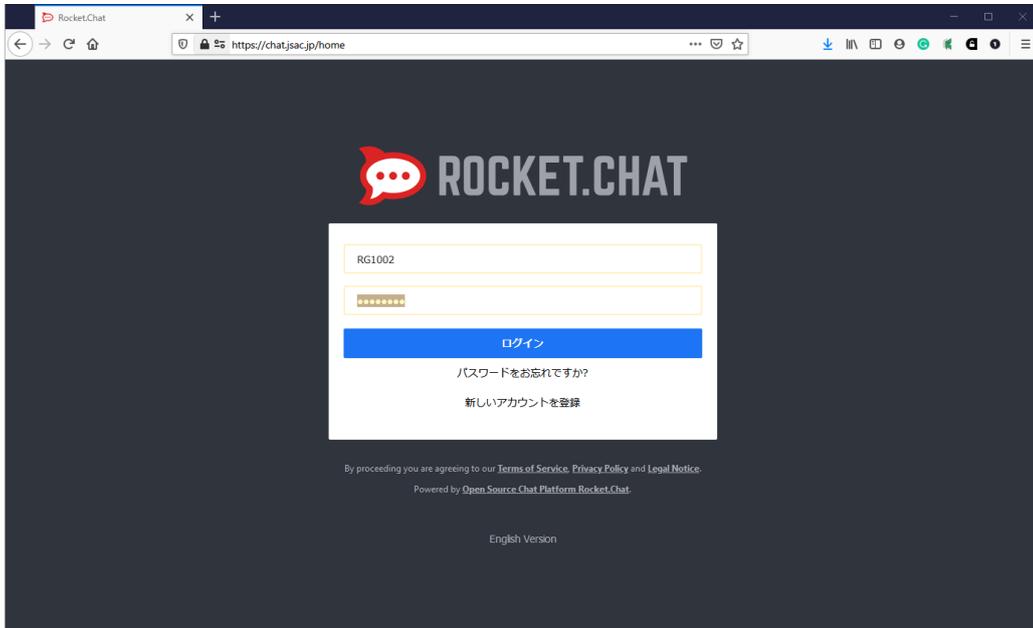


図9 Rocket.Chat ログイン画面

- ログイン後、最初に行うのはチャンネル作成です。左側のメニューの上部、右端にある鉛筆のアイコンをクリックし、「#チャンネル」を選択します。

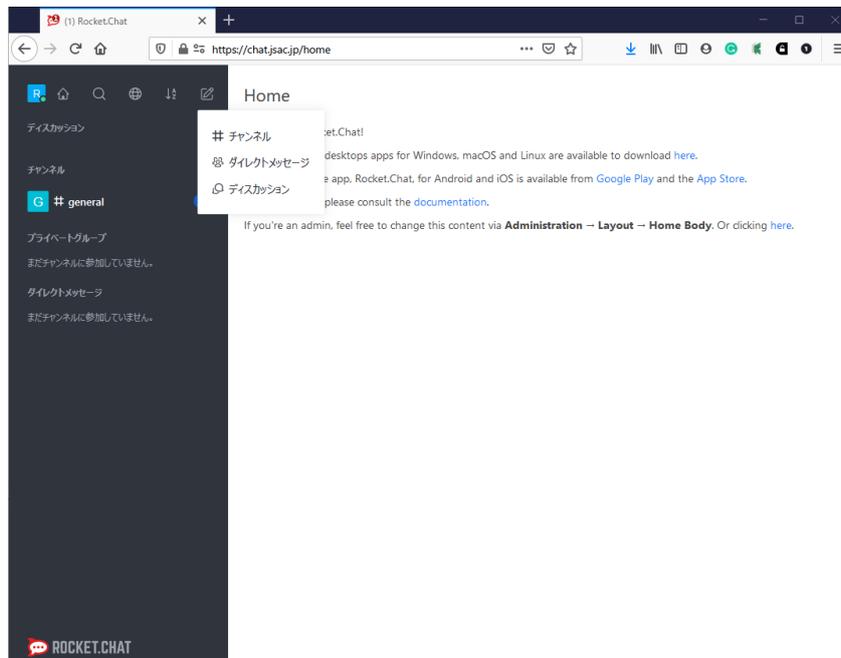


図10 Rocket.Chat の初期画面

- チャンネル作成画面は図 11 の通りです。初期は「プライベートチャンネル」の部分だけ緑色になっていますので、これをクリックして赤色の「パブリックチャンネル」に変更してください。それ以外は「読み取り専用ではなく」「放送チャンネルではない」ので、赤色のままとしてください。「チャンネル名」は自分のポスター発表番号にします。チャンネル名は大文字になりませんが、小文字のままでも問題ありません。例えば、y3060 や p2040 などです。「ユーザーを招待」は空欄にしてください。入力に間違いがなければ、「作成」ボタンをクリックします。ポスターを複数発表される方は、チャンネルも複数作成します。

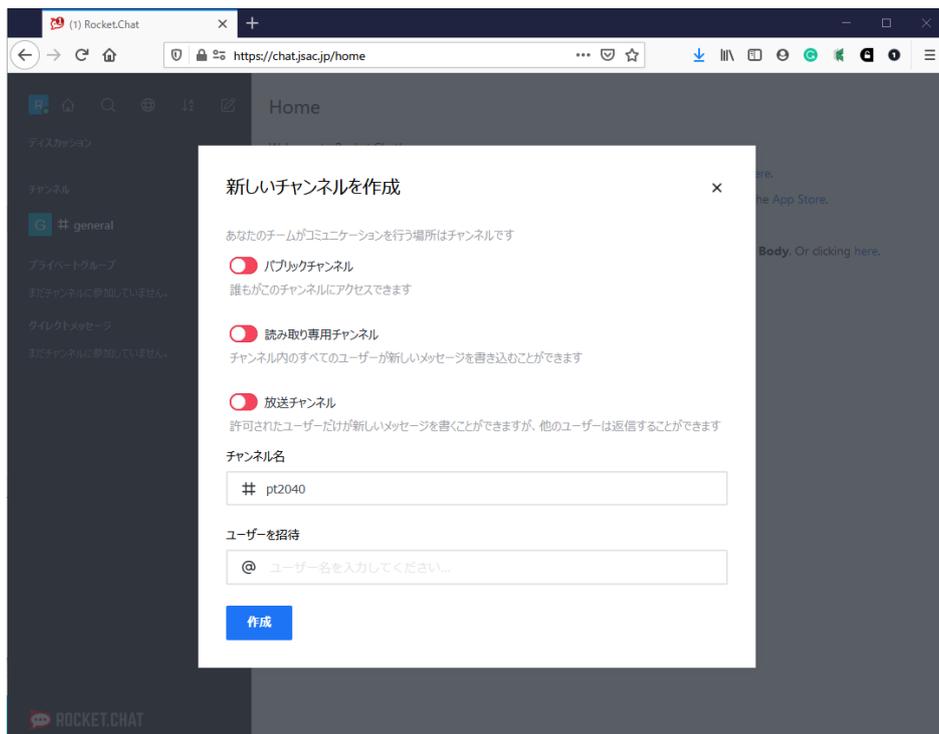


図 11 チャンネル作成画面

- 設置したチャンネルに発言があると、メールで通知できるように設定できます。右上の“:” (もっと) をクリックすると「通知設定」があるので、それを選択します。一番下の「メール」「アラート」の「デフォルト」をクリックして「すべてのメッセージ」にすると、チャンネルに発言があるたびに登録アドレスにメールが送信されます。

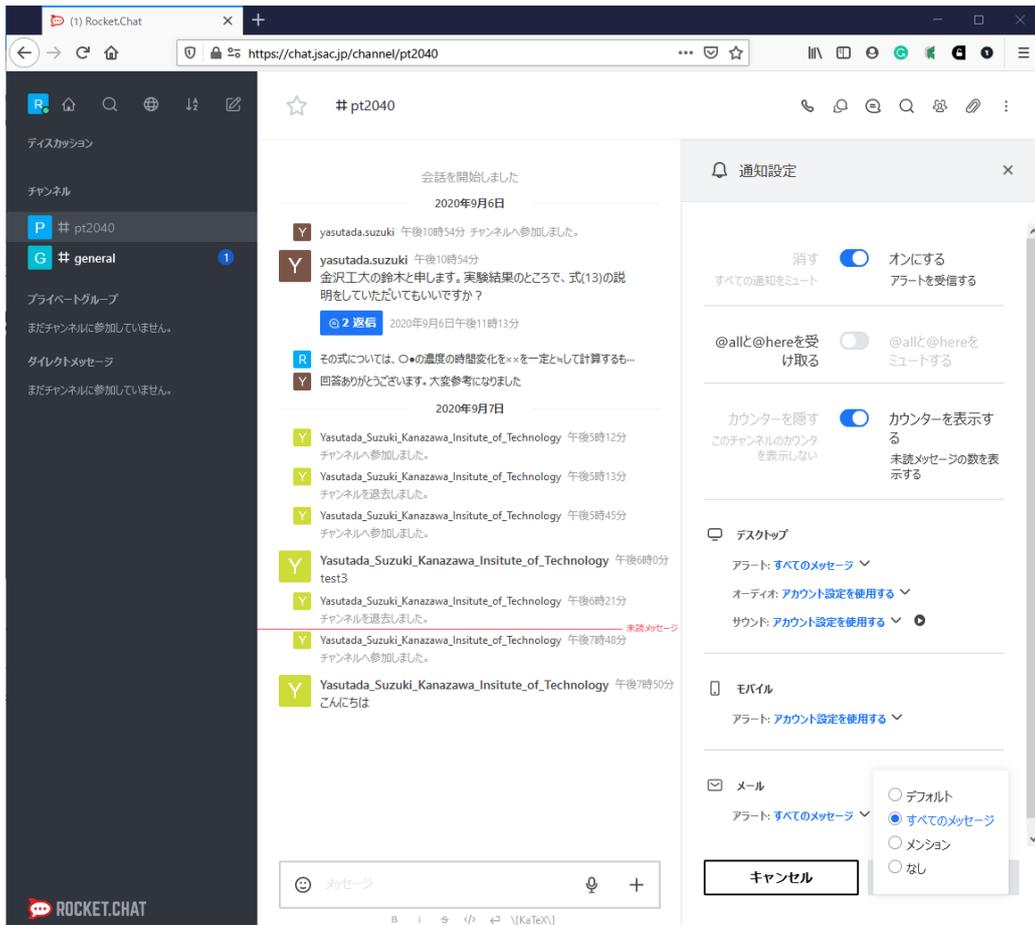


図 12 メールによる通知設定

- チャンネルを作成したらログアウトして構いません。左側メニュー上部、左端の“R”アイコンをクリックしてログアウトを選びます。会期中、一時的にチャットから離れる場合などは、「離席中」にすることもできます。

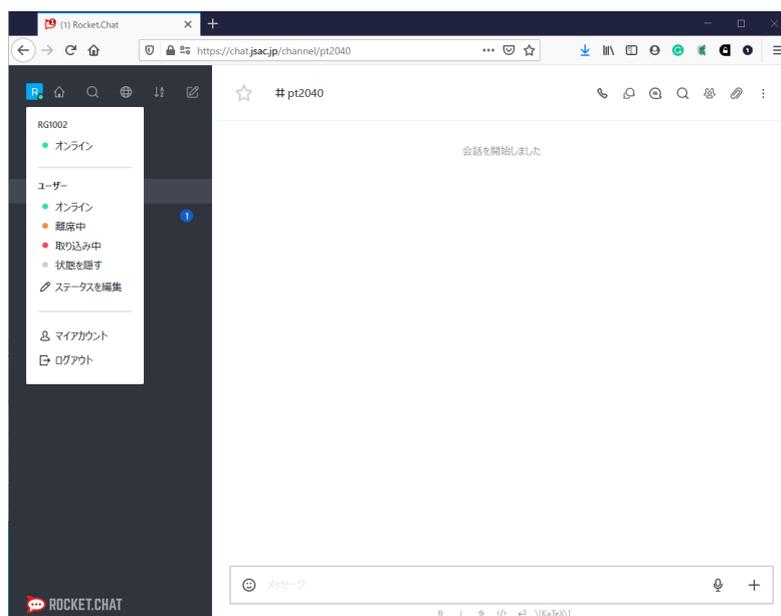


図 13 ログアウト・ステータス画面

- 自身で作成したチャンネルにメッセージが来ていたら、必要に応じて回答します。この時、どの質問に対する回答かわかるよう、スレッド機能を使用します。元となる発言にマウスカーソルを持っていくと、右側にいくつかアイコンが表示されます。そのうち「スレッドで返信」を選ぶと、スレッドが作成されます。

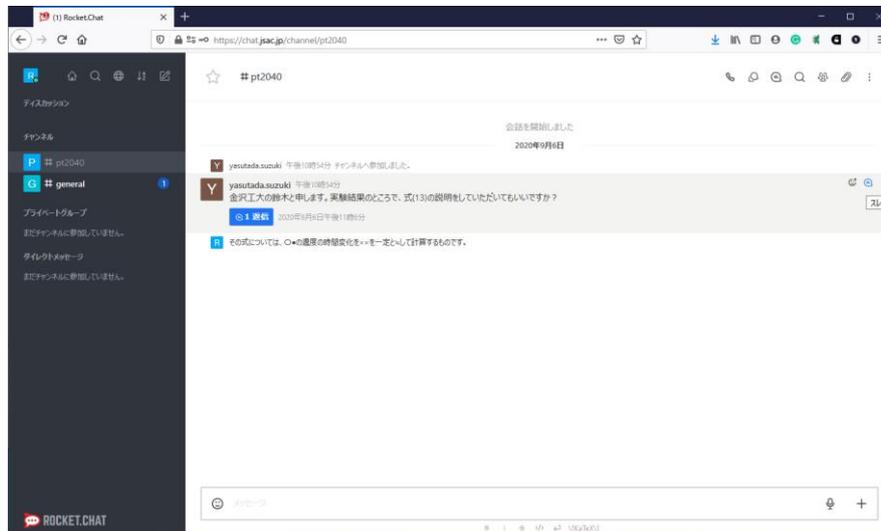


図 14 チャット画面 (スレッド)

- チャット入力欄の右側にある”+”をクリックすると、「ディスカッション」を開始できます。特定の話題について、専用のサブチャンネルを作ることが可能です。利用は必須ではありません。ファイルの追加機能では、議論に必要な画像や文書を貼り付けられます。著作権等にご注意ください。

改版履歴

9月12日 ファイルサーバーの URL 訂正